



平成21年4月30日

各位

会社名 株式会社朝日工業社
 代表者名 代表取締役社長 高須 康有
 (コード番号 1975 東証・大証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 総務副本部長 海野 清
 (TEL 03-3432-5711)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月6日の第3四半期決算発表時に公表した平成21年3月期の業績予想と期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月6日発表)	87,700	2,300	2,350	740
今回修正予想(B)	86,500	2,930	3,030	1,190
増減額(B-A)	△ 1,200	630	680	450
増減率	△ 1.4%	27.4%	28.9%	60.8%
前期(平成20年3月期)実績	80,512	2,666	2,702	1,047

2. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月6日発表)	86,500	2,150	2,250	700
今回修正予想(B)	85,600	2,830	2,990	1,190
増減額(B-A)	△ 900	680	740	490
増減率	△ 1.0%	31.6%	32.9%	70.0%
前期(平成20年3月期)実績	78,692	2,335	2,425	910

3. 業績予想修正の理由

当年度の当社の売上高は、機器事業部製品の売上高はほぼ予想通りでしたが、完成工事高が予想を若干下回り、全体として約1.0%の減少見込みとなりました。

一方、利益面につきましては、コスト管理の徹底による採算の改善や次年度完成予定の一部工事の工期が繰上になった影響による工事利益の増加と機器事業部製品の採算の回復により、売上総利益は約6億9千万円の増加見込みとなりました。一方、販売費及び一般管理費や投資有価証券の減損処理による損失額は概ね見込みの範囲に収まり、その結果、売上総利益の増加が寄与し、営業利益、経常利益および当期純利益は予想を大幅に上回る見込みとなりました。

連結業績予想の修正は、主として、個別業績予想の修正によるものです。

4. 平成21年3月期の期末配当予想の修正

	期 末	年 間
前回発表予想 (平成20年5月15日発表)	1 2 円 0 0 銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 2円00銭)	1 2 円 0 0 銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 2円00銭)
今回修正予想	1 4 円 0 0 銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 2円00銭) (記念配当 2円00銭)	1 4 円 0 0 銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 2円00銭) (記念配当 2円00銭)
前期(平成20年3月期)実績	1 2 円 0 0 銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 2円00銭)	1 2 円 0 0 銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 2円00銭)

5. 配当予想修正の理由

当社は、本年3月1日をもちまして東京・大阪両証券取引所第一部指定替30周年を迎えました、また、当年度の業績につきましても、経営環境の厳しい中で予想を上回る良好な成績をあげることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、本日開催の取締役会におきまして、上記の通り、普通配当、特別配当に加え、一部指定替30周年記念配当を実施いたしたく、平成21年6月下旬開催予定の第80回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

(注)業績修正につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績は、様々な要因の変化により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上